

研究・ 技術シーズの 社会実装に向けて

バイオ・ヘルスケア・医療・ライフサイエンス分野における、
研究・技術シーズの事業化・社会実装に向けた起業マインドの醸成、
大学・研究機関等の研究者と
企業の産学連携促進へと繋げる交流会イベントを開催。

2023
12.4 (月)
14:00 ~ 17:30
受付 13:30 ~

札幌ガーデンパレス 2階 丹頂の間
札幌市中央区北1条西6丁目

対象: バイオ・ヘルスケア・医療・ライフサイエンス分野の
大学・研究機関等研究者・企業、IT・ものづくり等企業、
スタートアップ・エコシステム支援者 など

主催: ノーステック財団、札幌市

後援: 一般社団法人北海道バイオ工業会

協力: STARTUP HOKKAIDO、
札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会、
SAPPORO AI LAB、SAPPORO BI LAB

NOASTEC SAPPORO

PROGRAM

イベントプログラム

14:00～14:10 **開会**

14:10～14:40 **基調講演**



株式会社イーベック
代表取締役社長
土井 尚人氏

14:45～15:15

社会実装に向けて活動する企業



HILO株式会社
代表取締役
天野 麻穂氏



株式会社サンクレエ
代表取締役
森 正人氏

15:25～16:25

研究者のシーズ／ニーズ発表

16:30～17:30 **交流会**

PROFILE

株式会社イーベック 代表取締役社長 土井 尚人氏

信託銀行で新事業主管の経営企画や融資・株式公開支援等に従事。ヒューマン・キャピタル・マネジメントを設立し代表取締役就任。東証プライム上場企業からベンチャーまで会社設立や新分野進出に従事。イーベックにも設立から参画した。

HILO株式会社 代表取締役 天野 麻穂氏

東京大学大学院修了、博士(農学)。北海道大学URA在職時に医療系研究成果の活用を担当、光診断薬と出会う。2021年同大学院医学研究院講師、HILO株式会社代表取締役。2023年より同特任准教授。

株式会社サンクレエ 代表取締役 森 正人氏

株式会社サンクレエ代表取締役。北海道IT推進協会相談役。札幌商工会議所情報部役員。SAPPORO AI LABテクニカルメンバー。DXコンサル・AIを活用した中小企業向けのサービスの企画・開発。

研究者のシーズ／ニーズ発表

1 「体液検査によるがん診断デバイスの開発と実装」

北海道大学 大学院理学研究院 准教授 龍崎 奏氏

血液検査から「がんの検出」「がん種の特定」「がんの転移予測」を目的とした独自の次世代がん診断デバイスの開発状況と展望について紹介する。また、この技術を実装するための課題およびビジネス展開についても述べる。

2 「免疫統合プロファイル分類に主眼を置いた病理画像AIスクリーニングアルゴリズムの構築」

札幌医科大学 産婦人科学講座 助教 真里谷 奨氏

がん分子生物学的プロファイルの解析により、それぞれのがんに最適化された個別化治療の提供が可能となったが、次世代シーケンサーを主体とした検査系は高額であり時間を要する。人間には同定困難な病理画像の微細な特徴を深層学習を用いて解析することで、特に腫瘍免疫微小環境の推定に着目した個別化治療の迅速・簡便な提供へ繋がるAIアルゴリズム構築を目指していく。

3 「単純写真による関節疾患評価支援ソフトウェアの紹介」

北海道大学 大学院保健科学研究院 教授 神島 保氏

関節リウマチや変形性関節症の関節裂隙狭小や骨びらんなどの経時的な変化を単純写真で正確にとらえることは患者管理において重要であるが、評価には熟練を要し、多忙な日常診療においてはあまりにも煩雑である上に、微細な変化の検出に関しては目視の限界も問題である。我々が開発したシステムは、微細な関節の変化を鋭敏に視覚化・定量化することができ、関節疾患の診療にかかわる医師などの医療従事者にとって有用な情報を提供できる。

4 「ポリマーコーティング種子による秋播き栽培法の開発」

北見工業大学 地球環境工学科 准教授 浪越 毅氏

道内重要作物の玉ねぎや甜菜は移植栽培が中心だが、農家減少と高齢化で今後は直播栽培が主流となる。しかし、直播でも春に農作業が集中してしまう。そこで収穫後の農閑期に播種を可能とするため、ポリマーを多層コーティングした種子を作成した。これにより2層のコーティングが秋から春までに剥離し、春に発芽する発芽制御を確立した。

5 「におけるデジタル化と生体化学情報の収集」

北海道大学 電子科学研究所 教授 長島 一樹氏

数百種以上の分子群で構成される生体ガス(呼吸・皮膚ガス等)は、血液や尿と同等の情報を有するため、センサを介して生体ガスから生体化学情報が収集できれば、従来血液検査では困難な連続的健康状態モニタリングや無侵襲疾病診断の実現が期待される。私達においてはデジタル化し、生体化学情報の収集を可能にする分子認識材料・デバイス開発やデータ科学研究を展開している。今回は関連する技術シーズ・ニーズを紹介する。

● 申込方法

申込はこちらから

<https://forms.gle/QcXMyXgcXhuFMEEcc9>

● 定員 **70名** ※定員となり次第終了

● 申込期限 **2023年11月30日(木)**

● 問い合わせ先

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)
研究開発支援部 梶原・小原/札幌市北区北21条西12丁目コラボほっかいどう

TEL: 011-708-6392 kenkyu@noastec.jp

